

会員生協の活動



自治体との「災害時における 支援協力に関する協定」の締結について

「コープいしかわ

コープいしかわでは、現在、「災害時における支援協力に関する協定」の締結を県内の自治体に呼びかけています。

物資の応急支援にかかわる協定は、石川県と石川県生協連との間で平成14年に締結され、これまででも対応がすすめられていますが、今回の「支援協力に関する協定」は「物資の応急支援」

で掲げられた理念をより充実させるものとして、応急物資の支援のみならず、平時の市民による学習活動を重視し、行政・生協相互で防災・減災に取り組むことも盛り込んでいます。

今年度は野々市市・小松市・津幡町・志賀町・七尾市・宝達志水町・かほく市・能登町・輪島市の、5市4町と締結しました。行政の方々からは「物資協定はいくつかの団体と締結しているが、普段からの防災・減災活動にふみこんで協力関係が作れることは、とても心強い」とのご意見もいただいております。今後は行政や住民の方々と一体となった学習活動の参加や呼びかけ等も実施し、日常的な連携を行っていきたいと考えています。

(コープいしかわ総合企画部
鈴木 茂信)

生協連の活動



研修会の様子

第2回 役職員研修会

いまさら聞けない決算書の読み方

●2月6日(水) 13:00～15:00 ●労済会館2F第一研修室

県生協連主催の役職員研修会が、大学生協北陸事業連合の磯村裕隆氏を講師に迎えて開催されました。

生協連では、会員生協の要望を受けて毎年研修会を催し、啓発にとりくんでいます。今回の研修会では、理事のほかに職員の参加も多く、テーマへの関心の高さがうかがえました。

図解で考え、ビジュアルで納得させる

決算書の全体像は、フローとストック。貸借対照表は、「右から集めて左で使う」。左側の「資産」は、右側で調達した資金を使って購入したモノの一覧。キャッシュフローは8パターンしかない等、納得や関心が得られる図解や、親しみやすいイラストを使い、わかりやすさに主眼に置いての研修となりました。参加者の口コミでその後も会員生協から資料の要望があり、好評だったようです。

今後も、会員生協の活動を支援するさまざまな取り組みをすすめます。

(学校生協常務理事
嶋山 栄実)